カメラ

カメラをご利用になる前に 6-2
画像データの保存形式／保存場所 6-2
カメラ利用時のご注意 6-3
カメラのご使用について 6-3
撮影画面の見かた 6-4
静止画／動画の撮影 6-6
静止画を撮影する（カメラモード） 6-6
動画を撮影する（ビデオカメラモード） 6-7
撮影に関する機能 6-7
フォーカス機能の利用（アウトカメラのみ） 6-11
フォーカス設定を切り替える 6-11
ピントを固定して撮影する
（オートフォーカスロック） 6-12
撮影した静止画／動画の確認 6-12
タッチカメラの利用 6-13
タッチカメラを起動する 6-13
静止画を撮影する 6-14
撮影に関する設定 6-15
タッチアルバムの利用 6-15
静止画を確認／再生する 6-15
タッチスライドショーを利用する 6-18

カメラをご利用になる前に

本機は約8.1メガピクセルCMOSカメラ（オートフォーカス機能付き）を搭載し、以下の撮影方法で静止画や動画の撮影ができます。

タッチアルバム（☞P.6-15）を利用すると、タッチ操作で撮影した静止画を「見る」「探す」ができ、多彩なエフェクトでスライドショーを楽しむこともできます。

撮影方法	説明	タッチアルバム
カメラモード	縦画面または横画面で静止画を撮影します。 連写モードで連続撮影もできます。	○
ビデオカメラモード	縦画面または横画面で動画を撮影します。	×
タッチカメラ（☞P.6-13）	横画面で静止画を撮影します。 タッチ操作で撮影に関する設定やピント合わせなどもできます。	○

- カメラモード／ビデオカメラモードで本機を開閉すると、横画面／縦画面を切り替えます。
- カメラモード（連写モードは除く）／タッチカメラでは、本機の向きを変えて撮影しても、撮影画面に表示されている向きで保存します。（撮影状況によっては、撮影画面に表示されている向きで保存されない場合があります。）

画像データの保存形式／保存場所

撮影した静止画／動画はデータフォルダに保存されます。

撮影画像	保存形式	保存場所
静止画	JPEG（.jpg）	ピクチャーフォルダのカメラフォルダ
動画	MPEG-4（.3gp）／ASF（.asf）	ムービーフォルダのカメラフォルダ

- microSDカードに保存する場合は、保存先設定を切り替えてください。（☞P.18-16、P.18-17）

カメラ利用時のご注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れているとピントが合わなくなります。汚れたら柔らかい布できれいにふいてください。
- 本機が動かないようにしっかり持って撮影してください。動くと画像が乱れる原因となります。薄暗い場所では特に乱れやすいのでご注意ください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- カメラ起動中はフォトライトが点灯／点滅します。インカメラで撮影するときは、着信／充電ランプが点滅します。点灯／点滅は消せません。

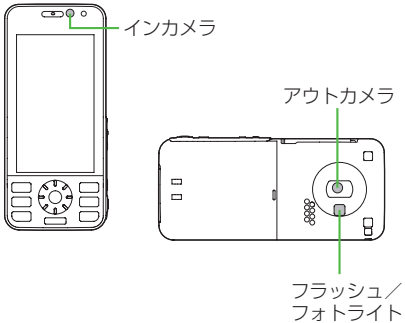
カメラ撮影時の撮影音について

マナーモードなどの設定にかかわらず、撮影時は音（シャッター音やセルフタイマー音）が鳴ります。音量は変更できません。

- シャッター音を変えるには（☞P.18-16、P.18-17）

カメラのご使用について

カメラはインカメラとアウトカメラの2箇所のカメラを切り替えて使います。フラッシュ／フォトライトを使用して撮影することもできます。



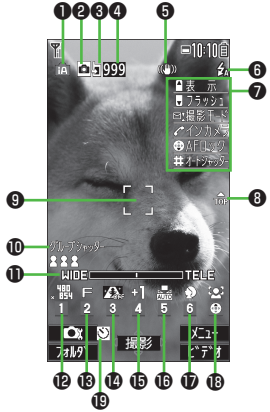
お知らせ

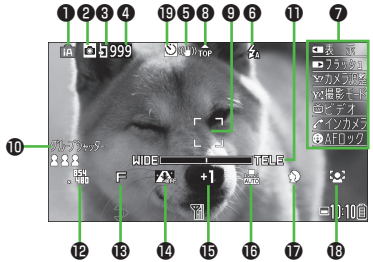
- 電池残量が不足していると、カメラは起動できません。
- カメラ起動中に着信やアラーム動作があったり、電池残量が不足したりするとカメラは終了します。撮影したデータを保存する前に終了した場合でもデータは保持されています。また、動画の場合はカメラ終了まで撮影していたデータが保持されています。再びカメラが起動したときにデータを保存してください。
- 起動後に約3分間何も操作しないとカメラは自動的に終了し、起動する前の画面へ戻ります。

撮影画面の見かた

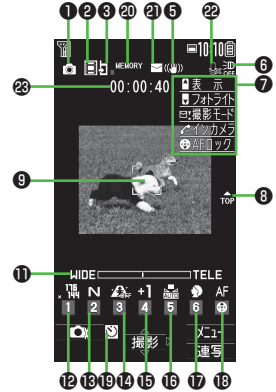
●画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

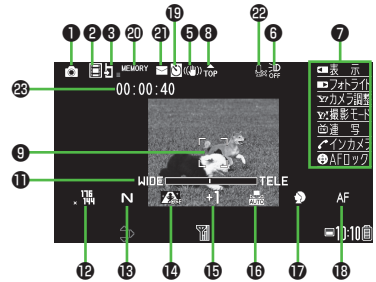
■ カメラモード





■ ビデオカメラモード





	項目	説明	切替操作
❶	撮影モード（☞P.6-9）	iA インテリジェントオート　通常撮影　SCN シーン Myオリジナル設定　（シーン／Myオリジナル設定の場合は、設定によってアイコンが変わります。）	✉[ ]（長押し）→モードを選択（→シーン／Myオリジナル設定の場合は、項目を選択）
❷	カメラモード切替	カメラモード　ビデオカメラモード ／　／　M 連写モード（オート／オートブラケット／マニュアル）	**[ビデオ／連写／カメラ]** ●連写モードの切り替え（☞P.6-10）
❸	保存先設定	本体　microSD	9
❹	撮影可能枚数	残りの撮影可能枚数を表示	—
❺	手ブレ補正	自動的に手ブレを補正（アウトカメラ使用時のみ）	（☞P.18-16、P.18-17）
❻	フラッシュ設定（静止画）	オート　強制発光　常時点灯　発光禁止	▼
	フォトライト設定（連写／動画）	ON　OFF	
❼	ボタンガイダンス	ボタン操作を表示	—
❽	天地アイコン	撮影時の上下方向を表示	—
❾	フォーカスガイド	オートフォーカスガイド　追尾AFガイド	—
❿	オートシャッター※1（☞P.6-7）	ラブシャッター（恋人）　ラブシャッター（お友達） グループシャッター（設定した人数）	#
⓫	ズームバー	ズームレベルを表示（☞P.6-8）	望遠／広角（長押しで連続ズーム）
⓬	画像サイズ※2	画像サイズを表示（☞P.6-8）	1→サイズを選択
⓭	画質※2	N ノーマル　F ファイン　SF スーパーファイン	2→画質を選択
⓮	高感度撮影※2	ON　OFF	3→ON／OFFを選択
⓯	明るさ調節※2	撮影画面の明るさを調節（レベル−3〜+3）	4→レベルを選択
⓰	ホワイトバランス※2	オート　晴天　曇天　電球　蛍光灯	5→モードを選択
⓱	シーン※2	ポートレート　スポーツ　料理　風景　ナイトモード 逆光　文字　雪　夕焼け　ペット	6→シーンを選択
⓲	フォーカス設定※2（☞P.6-11）	顔認識　AF オート　接写　風景　追尾AF	→モードを選択
⓳	セルフタイマー設定	（☞P.6-7）	7→ON／OFFを切替
⓴	使用メモリ量バー	メモリ使用状況の目安を表示（メモリがいっぱいのときは赤で表示）	—
㉑	動画容量設定	メールモード　長時間	（☞P.18-17）
㉒	撮影種別設定	映像のみを録画	（☞P.18-17）
㉓	録画可能時間	録画可能時間の目安	—

※1 撮影モードが**インテリジェントオート**でオートシャッターの設定がない場合は、ボタンガイダンスが表示されます。
※2 ✉[ ]→で項目を選択→で設定内容を選択でも操作できます。

静止画／動画の撮影

- ご利用前に電池残量（☞P.1-12）とメモリ容量（☞P.18-16、P.18-17）をご確認ください。動画の場合、電池残量が不足しているときは撮影できません。
- 静止画や動画を撮影すると、自動的にデータフォルダに保存されます。確認してから保存する場合は、**自動保存設定**を**OFF**にしてください。（☞P.18-16、P.18-17）
- 撮影の手順は、主に縦画面での操作を記載しています。

お知らせ

- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、撮影した静止画／動画を確認する際は、正常に表示されます。
- ▢(📷)で撮影する場合は、▢(📷)をしっかりと押し込んでください。

静止画を撮影する（カメラモード）

1 📷

静止画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示

- イン／アウトカメラを切り替えるには：📞

静止画撮影画面

3 撮影するには、◉**[撮影]**／0／▢(📷)

撮影するとシャッター音が鳴ります。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

- アウトカメラ使用時で**フォーカス設定**が**顔認識**／**オート**／**追尾AF**の場合、自動的にピントを合わせて撮影します。

4 カメラを終了するには、📞

待受画面に戻ります。

連写で静止画を撮影する

最大20枚の静止画を連続して撮影できます。

- 連写の撮影枚数は画像サイズや連写モードの設定によって異なります。（☞P.6-10）

1 静止画撮影画面で、📷**[ビデオ]**→📷**[連写]**

「🅰」が表示されます。（アイコンは連写モードによって異なります。）

2 被写体を画面に表示→◉**[撮影]**／0／▢(📷)

撮影したすべての静止画は自動的に保存されます。

- アウトカメラ使用時で**フォーカス設定**が**オート**の場合、自動的にピントを合わせて撮影が始まります。
- 撮影を途中で止めるには：クリア

動画を撮影する（ビデオカメラモード）

1 [カメラ]（長押し）

動画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示

- イン／アウトカメラを切り替えるには：[カメラ]

3 撮影を開始するには、

[●]**[撮影]**／[0]／[□]([iA])

撮影開始音が鳴り、「●REC」が表示されます。

- アウトカメラ使用時で**フォーカス設定**が**顔認識**／**オート**の場合、自動的にピントを合わせて撮影が始まります。撮影中はフォーカス設定にかかわらず自動的にピントを合わせます。

動画撮影画面

4 撮影を終了するには、[●]**[終了]**／[0]／[□]([iA])

撮影停止音が鳴ります。
撮影した動画は自動的に保存されます。

- 記録可能時間を超えると、撮影は自動的に終了します。

5 ビデオカメラを終了するには、[⌒]

待受画面に戻ります。

お知らせ

- [カメラ]→[カメラ]**[ビデオ]**でもビデオカメラを起動できます。

撮影に関する機能

共通操作▶
カメラモード　：[カメラ]
連写モード　　：[カメラ]▶[カメラ]**[ビデオ]**▶[カメラ]**[連写]**
ビデオカメラモード：[カメラ]（長押し）

■ セルフタイマーを使用する

> [Y!]**[メニュー]**→**セルフタイマー設定**→**ON**→作動時間（秒）を入力→[●]**[撮影]**／[0]／[□]([iA])（→動画の場合、[●]**[終了]**／[0]／[□]([iA]））

- セルフタイマー音が鳴り、設定している作動時間経過後に撮影が始まります。
- タイマー動作中に[✉]**[中止]**または[クリア/BS]を押すと撮影画面に戻ります。タイマーは解除されません。
- 連写モードの**マニュアル**時はセルフタイマーで撮影できません。

■ オートシャッターを利用する（カメラモードのみ）

認識した顔の人数や距離を判別して自動で撮影します。（撮影モードが**インテリジェントオート**または**フォーカス設定**が**顔認識**の場合のみ）

> [Y!]**[メニュー]**→**オートシャッター**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
OFF	オートシャッターの設定を解除します。
ラブシャッター	2人までの顔を検出し、顔の距離が接近したときに自動で撮影します。 > **お友達／恋人** ●**恋人**に設定した場合、**お友達**に設定した場合より距離が近くなります。
グループシャッター	1～5人までの顔を検出します。設定した人数以上の顔を検出するとセルフタイマーが作動し、3秒後に撮影します。 > 人数を選択

- オートシャッター設定中でも、[●]**[撮影]**／[0]／[□]([iA])で撮影できます。（グループシャッターの場合はセルフタイマーが作動します。）

■ ズーム機能を使って撮影する

> ◎（望遠）／◎（広角）でズームレベルを調節→◉**[撮影]**／⓪／▢（📷）

- 連続してズームレベルを調節するには：◎（長押し）または スピードセレクターを回転
- ズーム機能は動画撮影中にも使用できます。
- **画像サイズ設定**が以下の場合はズームが使えません。
  ・インカメラ：**VGA**／**HVGAワイド**／**QVGA**（各モード）
- 広角／望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- 各画像サイズにおけるズームの最大倍率は以下のとおりです。横画面で最大倍率が異なる場合は、横画面での最大倍率を（ ）内に記載しています。

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
アウトカメラ			
カメラ（高感度撮影：OFF）	2448×3264 8M	21段階	約2.6倍
	1836×3264 6Mワイド	21段階	約2.6倍
	1944×2592 5M	21段階	約2.6倍
	1536×2048 3M	21段階	約2.6倍
	1080×1920 2Mワイド	21段階	約2.6倍
	1200×1600 2M	21段階	約2.6倍
	480×854 待受	21段階	約2.6倍
	480×640 VGA	21段階	約2.6倍
	240×320 QVGA	31段階	約5.1倍
	144×176 QCIF	31段階	約8.5倍
	96×128 Sub-QCIF	31段階	約12.8倍
カメラ（高感度撮影：ON）	1200×1600 2M	21段階	約2.6倍
	480×854 待受	21段階	約2.6倍
	480×640 VGA	21段階	約2.6倍
	240×320 QVGA	31段階	約5.1倍
	144×176 QCIF	31段階	約8.5倍
	96×128 Sub-QCIF	31段階	約12.8倍
連写	480×640 VGA	21段階	約2.6倍
	240×320 QVGA	31段階	約5.1倍
	144×176 QCIF	31段階	約8.5倍
	96×128 Sub-QCIF	31段階	約12.8倍
ビデオカメラ（手ブレ補正：オート）	480×640 VGA	21段階	約1.9倍
	480×352 HVGAワイド	21段階	約1.9倍
	240×320 QVGA	31段階	約2.9倍（約3.8倍）
	144×176 QCIF	31段階	約5.2倍（約6.4倍）
	96×128 Sub-QCIF	31段階	約7.2倍（約9.6倍）
ビデオカメラ（手ブレ補正：OFF）	480×640 VGA	21段階	約2.6倍
	480×352 HVGAワイド	21段階	約2.6倍
	240×320 QVGA	31段階	約3.8倍（約5.1倍）
	144×176 QCIF	31段階	約7.0倍（約8.5倍）
	96×128 Sub-QCIF	31段階	約9.6倍（約12.8倍）
インカメラ			
カメラ／連写	480×640 VGA	1段階	約1.0倍
	240×320 QVGA	1段階	約1.0倍
	144×176 QCIF	6段階	約1.6倍
	96×128 Sub-QCIF	21段階	約2.1倍
ビデオカメラ	480×640 VGA	1段階	約1.0倍
	480×352 HVGAワイド	1段階	約1.0倍
	240×320 QVGA	1段階	約1.0倍
	144×176 QCIF	6段階	約1.9倍（約1.6倍）
	96×128 Sub-QCIF	21段階	約2.8倍（約2.1倍）

■ フラッシュ／フォトライトを使用する

暗い場所などでアウトカメラを使用して撮影するときに、フラッシュ／フォトライトを点灯させるかどうかを設定します。

> 静止画撮影画面で[Y!]**[メニュー]→フラッシュ設定→**項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
オート	撮影する場面に応じて自動的にフラッシュが光ります。
強制発光	撮影の瞬間にフラッシュが強制的に光ります。
常時点灯	フォトライトが点灯します。
発光禁止	撮影するときにフラッシュ／フォトライトが光りません。

> 連写／動画撮影画面で[Y!]**[メニュー]→フォトライト設定→ON／OFF**

- 電池残量が不足しているときは、フラッシュ／フォトライトは使用できません。
- **発光禁止**以外に設定中に、カメラを終了したり、インカメラに切り替えた場合、次回カメラ起動時や再びアウトカメラに切り替えたときは、フラッシュ設定は**オート**に設定されます。**発光禁止**に設定していた場合は、設定は保持されます。
- **発光禁止**／**OFF**に設定していても、カメラ起動中や撮影時はフォトライトが点灯／点滅します。
- 撮影モードが**インテリジェントオート**の場合、**強制発光**には設定できません。
- フラッシュ使用時の適正撮影距離は約40～100cmです。
- 近くで撮影したりフラッシュ／フォトライト付近を持って撮影すると、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

■ 場面に適した撮影モードを設定する

> [Y!]**[メニュー]→撮影モード選択→**項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
インテリジェントオート	カメラモードで撮影するときに、被写体や撮影状況に合わせて撮影モードを自動で切り替えます。 ● 撮影モードが切り替わると、アイコンがアニメーション表示されます（例：接写）。 ● オートフォーカスロックを行ったあとは撮影モードは切り替わりません。インテリジェントオートを利用するには、オートフォーカスロックを解除してください。
通常撮影	標準のモードで撮影します。
シーン	撮影する場面や環境を選択することで、画像に適した明るさや色調に調節します。 > 項目を選択
Myオリジナル設定	（☞P.6-10）

■ 連写撮影の設定を変更する

> Y!**[メニュー]→連写設定→**項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
連写モード設定	> 項目を選択 ・**オート**：複数の静止画を自動で撮影します。※ ・**マニュアル**：1枚ずつ手動で撮影します。 ・**オートブラケット**：1枚ずつ明るさや色調を変えて9枚の静止画を自動で撮影します。
撮影間隔	**連写モード設定**が**オート**時の撮影間隔を設定します。 > 撮影間隔を選択
撮影枚数	**連写モード設定**が**オート**／**マニュアル**時の撮影枚数を設定します。 > 撮影枚数を選択

※ 撮影枚数は画像サイズによって以下のように変わります。
・VGA（480×640）：4枚（撮影枚数の変更はできません。）
・QVGA（240×320）：5～10枚
・QCIF（144×176）：5～20枚
・Sub-QCIF（96×128）：5～20枚

■ 変更した撮影設定を保存して利用する（Myオリジナル設定）

> ✉（長押し）**→Myオリジナル設定→**各項目の操作を行う（下記参照）

項目	操作・補足
設定を保存する	> 設定を選んで**[保存]**（→確認画面が表示された場合、**YES**）→タイトルを編集
保存した設定を呼び出す	> 設定を選択
保存した設定のタイトルを編集する	> 設定を選んで✉**[編集]→**タイトルを編集
保存した設定の詳細を確認する	> 設定を選んでY!**[詳細]**
保存した設定を削除する	> 設定を選んで📷**[削除]→YES**

●カメラモードと連写モードでそれぞれ3件まで登録できます。

フォーカス機能の利用(アウトカメラのみ)

フォーカス設定を切り替える

《お買い上げ時》カメラモード／ビデオカメラモード：顔認識
連写モード：オート

撮影モードがインテリジェントオート**以外の場合は、撮影シーンに合わせて以下のフォーカス設定が選べます。**
設定に応じて撮影前に自動的にピントを合わせます。

- 顔認識（カメラモード／ビデオカメラモードのみ）…人物の顔
- オート…自動
- 接写…近くの物
- 風景…遠い風景
- 追尾AF（カメラモードのみ）…被写体を自動で追尾

1 静止画／動画撮影画面で、◎

2 ◎でフォーカス設定を選択→◉

お知らせ
- 約10cm以上の距離でピントが合います。
- 撮影モードが**インテリジェントオート**の場合は、◎で追尾AFとの切り替えができます。
- フォーカス動作中はカメラ部から動作音が発生します。以下の場合はピントを自動的に合わせるため、フォーカス動作音が断続的に発生します。
  - ・フォーカス設定が**追尾AF**の場合
  - ・撮影モードが**インテリジェントオート**の場合
  - ・動画撮影中

「顔認識」について

- 約2.5m以内の人物の顔を最大5人まで検出できます。
- 人物の顔を検出すると黄色のフォーカスガイドを表示します。
- 顔を複数検出した場合は、自動的に1人の顔にピントを合わせます。（ピントの合った顔のフォーカスガイドが黄色になります。）
- 顔が以下の条件のときは検出できない場合があります。
  - ・横や斜めを向いたり、傾いたりしている
  - ・眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - ・画面全体に対して顔が極端に小さい、大きい、暗い
  - ・画面の端に顔がある
  - ・被写体や本機の動きが速い場合
- 検出に失敗した場合は、オートフォーカスで撮影されます。

「追尾AF」について

被写体に追尾AFガイドを合わせて◎を押します。被写体を認識すると黄色い追尾AFガイドになり、被写体の動きを追いかけてピントや露出を合わせ続ける追尾状態になります。追尾状態で◉**[撮影]**／⓪／▢(📷)を押すと、被写体の位置にピントを固定して撮影します。

- ▢(📷)（半押し）でピントを固定してから、▢(📷)を押して撮影することもできます。
- 追尾状態を解除するには：◎／クリア/BS
- 被写体が撮影画面の外に出たときなど、被写体を追尾できなくなった場合は、追尾状態が解除されます。
- 撮影状況によっては、被写体を追尾できない場合や他の被写体を追尾する場合があります。
- オートシャッター利用中や撮影サイズによっては利用できません。

ピントを固定して撮影する（オートフォーカスロック）

画面中央の被写体（「顔認識」の場合は人物の顔）にピントを合わせて固定します。
固定したあとに構図を変えることもできます。

1 静止画／動画撮影画面で、
◎／(＊)または▢(📷)(半押し)

① ピントが合うと「ピピッ」と鳴ります。
② フォーカスガイドが緑色に変わり、ピントが固定されます。

- ピントが合わなかった場合はフォーカスガイドが赤色になります。
- ◎／(＊)で固定したピントを解除するには：(クリア/戻る)
- ▢(📷)で固定したピントを解除するには：▢(📷)から指を離す

2 画面を見ながら構図を決める

3 各カメラモードに従って撮影する（カメラモード☞P.6-6／連写モード☞P.6-6／ビデオカメラモード☞P.6-7）

- 手順1で▢(📷)（半押し）でピントを固定した場合、そのまま▢(📷)を深く押すと、撮影できます。

撮影した静止画／動画の確認

メインメニューから カメラ

1 **静止画の場合**
ピクチャー

動画の場合
ムービー

2 フォルダを選択

3 画像を選択

例）ピクチャーフォルダ

■ microSDカードに保存されている静止画を確認する

> 手順1で**ピクチャー**→(📷)**[microSD]**→フォルダを選択

■ microSDカードに保存されている動画を確認する

> 手順1で**ムービー**→(📷)**[microSD]**→フォルダを選択

■ 静止画撮影画面表示中に静止画を確認する

> 静止画撮影画面表示中に(📷)**[フォルダ]**

- 静止画撮影画面に戻るには：(クリア/戻る)

こんなこともできます！

- 静止画を編集する（☞P.10-12）

タッチカメラの利用

待受画面からタッチカメラを起動して、静止画を撮影できます。タッチ操作で撮影に関する設定やピント合わせなどもできます。

- アウトカメラでの横画面撮影のみ可能です。
- タッチ操作について（☞P.1-21）

お知らせ

- ▢(iA)で起動／撮影する場合は、▢(iA)をしっかりと押し込んでください。

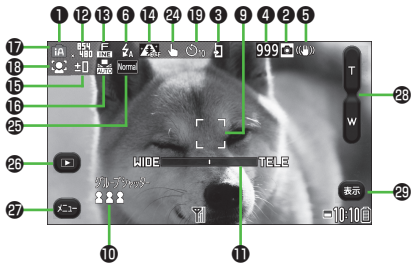
タッチカメラを起動する

1 ▢(iA)

撮影画面が表示されます。

■ 撮影画面の見かた

- 画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。



	項目	説明
❶～⓳	（☞P.6-5）	（☞P.6-5）
㉔	タッチAF/AE設定（☞P.6-14）	有効　無効
㉕	色調切替	Normal 通常　Sepia セピア　Mono 白黒 Vivid ヴィヴィッド　Natural ナチュラル　White 美白 Suntan 日焼け
㉖	タッチアルバム起動	タッチアルバムを起動して、撮影した静止画を表示 ●そのままスライドショーなどの機能を利用できます。（☞P.6-18） ●画面上の📷をタッチすると、撮影画面に戻ります。
㉗	メニュー	機能メニューを表示
㉘	ズーム	ズームレベルを変更 ●◎やスピードセレクターでもレベルを変更できます。
㉙	アイコン表示	アイコンの表示／非表示を切り替え ●▲で切り替えることもできます。

- ❶～⓳については、カメラモード／ビデオカメラモードと同様です。ただし、ボタンによる切替操作はできません。
- 撮影に関する設定を変更するには（☞P.6-15）
- ❻フラッシュ設定は、▼で切り替えることもできます。

お知らせ

- **メインメニューからカメラ▶タッチカメラ**でも起動できます。

静止画を撮影する

1 □(iA)→被写体を画面に表示

2 撮影するには、◉／□(iA)

フォーカスガイドが表示され、自動的にピントを合わせて撮影します。
撮影するとシャッター音が鳴ります。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

3 カメラを終了するには、⌒

待受画面に戻ります。

狙った被写体にピントや露出を合わせて撮影する（タッチAF/AE）

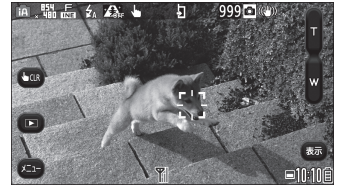
被写体をタッチすると、追尾AFガイドが被写体の動きを追いかけてピントや露出を合わせ続ける追尾状態になります。追尾状態で被写体の位置にピントや露出を固定して撮影できます。

●タッチAF/AE設定（☞P.6-15）が**有効**の場合のみ利用できます。

1 撮影画面で、被写体をタッチ

被写体を認識すると、追尾AFガイドが黄色に変わり、追尾状態になります。

●追尾状態を解除するには：クリア／画面上のCLR



2 撮影するには、◉／□(iA)

お知らせ

●被写体が撮影画面の外に出たときなど、被写体を追尾できなくなった場合は、追尾状態が解除されます。
●撮影状況によっては、被写体を追尾できない場合や他の被写体を追尾する場合があります。
●オートシャッター利用中や撮影サイズによっては利用できません。

撮影に関する設定

撮影画面上でメニューまたは画面左上のアイコンをタッチすると、下記の画面が表示されます。画面に従って操作してください。

お知らせ

- 撮影モード選択は、次回タッチカメラ起動時に**インテリジェントオート**に戻ります。
- フォーカス設定は、一旦撮影画面からタッチアルバムに移行すると、**顔認識**に戻ります。

タッチアルバムの利用

データフォルダのピクチャーフォルダに保存されている静止画は、タッチアルバムで確認／再生できます。
タッチ操作で「見る」「探す」ができ、多彩なエフェクトでスライドショーを楽しむこともできます。

- タッチアルバムで再生可能なファイルはJPEGのみです。
- タッチ操作について（☞P.1-21、P.6-17）

静止画を確認／再生する

1 （長押し）

フォルダ一覧画面が表示されます。

フォルダ一覧画面

2 フォルダをタッチ

ファイル一覧画面が表示されます。

3 ファイルをタッチ

ファイル詳細画面が表示されます。

お知らせ

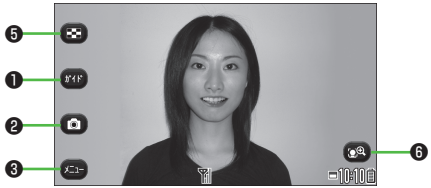
- **メインメニューから カメラ▶タッチアルバム**または**メインメニューから データフォルダ▶ピクチャー▶タッチアルバム**でも起動できます。
- タッチアルバム起動中の画面は、テレビなどに表示することもできます。（☞P.11-13）

確認／再生中に利用できる機能

画面にタッチすると、以下の機能が利用できます。
画面に従って操作してください。

フォルダ一覧画面

ファイル一覧画面



ファイル詳細画面

	項目	説明
❶	ガイド	表示されている画面でできる操作を表示
❷	タッチカメラ起動※1	タッチカメラを起動
❸	メニュー	機能メニューを表示
❹	フォルダ一覧	フォルダ一覧画面を表示
❺	ファイル一覧	ファイル一覧画面を表示
❻	顔ズーム※2	顔をアップで表示 ●複数の顔を検出した場合は、タッチするたびに別の顔をアップで表示します。

※1 タッチカメラの撮影画面で▶をタッチしてタッチアルバムを起動した場合のみ
※2 再生中の静止画に人物の顔を検出した場合のみ

お知らせ

- ファイル詳細画面をタッチするたびにアイコンの表示／非表示を切り替えます。
- 顔ズームをしても、静止画によっては顔をアップで表示できない場合があります。また、ビューティプラス（☞P.6-17）と顔ズームでは検出する顔が異なる場合があります。

■ フォルダ／ファイル一覧画面で利用できる機能

フォルダ／ファイル一覧画面上でメニューをタッチすると、下記の機能が利用できます。画面に従って操作してください。

項目	操作・補足
スライドショー	ファイルを連続して表示します。（☞P.6-18）
きせかえ※	フォルダ一覧画面の表示パターンを変更できます。
アイコン表示	画面のアイコンの表示／非表示を切り替えます。 ●▲で切り替えることもできます。

※ フォルダ一覧画面の場合のみ

■ ファイル詳細画面で利用できる機能

ファイル詳細画面上でメニューをタッチすると、下記の機能が利用できます。画面に従って操作してください。

項目	操作・補足
スライドショー	ファイルを連続して表示します。（☞P.6-18）
ズーム	200%に拡大表示されます。
回転	タッチするたびに右に90度回転して表示します。
メール添付	ファイルをS!メールで送信します。（☞P.14-4手順2以降）
ブログ投稿	ファイルをブログに投稿します。（☞P.8-7）
エフェクト	スライドショー再生時の効果を設定します。
削除	ファイルを削除します。
アイコン表示	画面のアイコンの表示／非表示を切り替えます。 ●▲で切り替えることもできます。
ビューティプラス	最大5人まで顔を検出し、補正して保存できます。

お知らせ

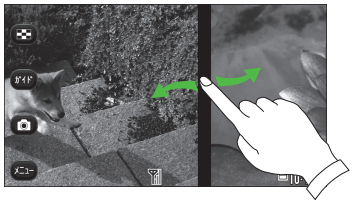
- ファイルをブログ投稿した場合、投稿先によっては画像の向きが意図した方向にならないことがあります。

便利なタッチ操作

タッチアルバムでは、さまざまなタッチ操作ができます。ここでは、以下の2つの例で便利なタッチ操作を説明します。

■ ページ／画面のスクロール（フリック）

- ファイル一覧画面で左右に指をはらうと、前後のページに切り替わります。
- ファイル詳細画面で左右に指をはらうと、前後の画面に切り替わります。



■ ズーム（ピンチ）

ファイル詳細画面で指を開いたり閉じたりすると、表示を拡大／縮小します。

タッチスライドショーを利用する

ファイルを連続して表示します。

1 ▲（長押し）

2 **すべてのフォルダ内のファイルを表示する場合**
メニュー→スライドショー

特定のフォルダ内のファイルを表示する場合
フォルダを選択→**メニュー→スライドショー**
スライドショーを開始します。

お知らせ
- 待受画面で◎を長押しすると、すべてのフォルダ内のファイルのスライドショーを開始します。

スライドショー再生時の操作

スライドショー再生時に画面にタッチすると、スライドショーが一時停止し、メニューが表示されます。画面に従って操作してください。

■ スライドショーの設定を変更する

一時停止中のメニューで**設定**をタッチすると、以下の設定内容が表示されます。画面に従って操作してください。

項目	操作・補足
再生時間	1ファイルごとの再生時間を設定します。
エフェクト	効果を設定します。
顔ズーム	顔をアップで表示します。
ランダム	順不同に表示します。
リピート	繰り返し再生します。
アイコン表示	画面のアイコンの表示／非表示を切り替えます。 ●▲で切り替えることもできます。

お知らせ
- 顔ズームを設定しても、静止画によっては顔をアップで表示できない場合があります。また、ビューティプラス（☞P.6-17）と顔ズームでは検出する顔が異なる場合があります。